

里だより

No.379

令和5年8月1日

—発行—

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



いきいきグループ外出

アンジュールハウス

～R5.7.20～



生活介護⑤班外出

佐保の湯

～R5.6.28～

編集後記	行事予定	行事報告	サービス向上委員会より	職員より・事務局より	主任より	相談より	施設長より	八月号もくじ
7		5	4		3	2	1	(ページ)



施設長より

災害と復旧と通常運行



梅雨真つただ中の七月、線状降水帯が日本の各地で大きな被害をもたらしています。被害にあわれた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。大雨の被害がある一方で、天気が良いと熱中症警戒アラートの発令。天候にばかり気を向けていると、身近なところで、コロナ・インフルエンザ発症。私が過ごした幼少期とは違う夏の警戒感が漂っています。

不安なニュースを耳する中、七月半ば、うれしいニュースが入ってきました。二〇一六年四月の熊本地震の影響で不通となっていた南阿蘇鉄道の全線開通です。これまでの高森―立野間だけではなく、一日二本の肥後大津行きも追加されました。再開される七月十五日前後は、県内のみならず全国ニュースにもなっていて、利用者さんもそれを見て喜ばれていました。開通の話題も去るころながら、以前勤務していたスタッフが家業を継ぐために退職し、沿線の駅近くにお店を出しているため、度々取材を受けテレビに出ている姿を見て「〇〇さん、(テレビに)出とらしたよー」と嬉しそうに話されます。スタッフよりも早い情報収集力に驚きです(笑)。「買い物に行かなんね」「電車に乗っていいこうか?乗りたいかねー」と、お出かけモード全開です!列車旅とはいきませんが、時間の都合を見て、ちよつと遊びに行けるようにしたいと思います。

別日、個人的に用事があり、沿線の一つの駅に行ってみました。ちよつと地元の中学生在がレールバスを待っていました。開通

して初めての地元学生の乗車らしく、駅舎内の店長さん曰く「開通しての数日は、遠方からお祝いのため乗車されるお客さんも多くありがたいが、一時的なもので、大切なのは地元の学生さんなどがたくさん利用して、それが続いていくこと」とのことでした。地震前の日常がようやく戻ったの通常運行と、これからの発展にも大きく期待を持たれていました。

あの地震からもう七年かと、時が過ぎる速さを感じると共に、地震当日のことも思い起こされます。当施設も今では、地震の被害もほとんど復旧され、面影さえ見ることができませんが、多くの方の支援や手助けがあつて乗り越えることができました。ライフレインが途絶えた時の不便さの記憶は、次第に薄らいでいきますが、お世話になつた感謝は忘れないようにしなければいけません。感謝をお返しできればいいのですが、なるべく色褪せないように当手を振り返り、その経験を糧に通常運行していくことお返ししていきたいと思えます。

当施設は高台にあり、近くの川沿いが洪水浸水想定区域になっているため、指定避難場所に避難できない場合は、空いているスペースを使わせてほしいと町から依頼がありました。当然、承諾です。熊本は、地震の後にも九州北部豪雨、令和二年七月豪雨など被害にあっています。施設としても、いち社会資源として地域に貢献できる場所は協力したいと思っています。

施設長 松永一博



相談より

二十年目を迎えて



私事ですが、今年で入社二十年目となりました。学生の頃は支援学校の先生を目指していましたが、当初思い描いた道とは少し異なっていますが、障がいがある方の力になりたいという部分は同じで、選択は間違っていないかと思っています。それでもつくしの里がここまで自分にとって切り離せない存在になるとは思っていませんでした。

つくしの里は今年で三十二周年。その歴史のうちの二十年（約六割）は私も携わっていることとなります。初代河野施設長からは、入社式後に個別で呼び出され「君は中途採用だから、新卒の新人と同じ気持ちで仕事をしてもらっては困る。今まで培ってきたことを存分に発揮してほしい。期待している」という言葉を頂きました。当時はプレッシャーにしか感じませんでした。徐々に色々なことにチャレンジしても許されるという解釈に変わり、人形劇の劇団を呼んだり、イベントごとに力を入れたりしました。これまで全てが上手くいった訳ではありませんし、きつかったこと、納得いかないこと、足を縫う怪我、眼底骨折：様々ありましたが、不思議と仕事が嫌で辞めたいと思つたことは一度もありません。何よりも利用者さんが楽しめることをと考えると、その為には自分も楽しく仕事をしないといけないという気持ちで今まで突き進んできたように思います。

昨年度末、職員が一斉に退職してしまいました（たまたまタイミングが重なってしまった訳ですが…）。今までも似たような状

況はありましたが、私の知る二十年のうちでは最大のピンチかなと感じました。でも、ピンチはチャンス。プロ野球などではフリーエージェントで大物選手が抜けると、必ずその穴を埋めるヒーロー的な選手が出てきます。控えの選手にしてみれば、ポジションが空く大きなチャンスです。その例えが当てはまるのかは分かりませんが、今年は新人職員も今までほど手を掛けられず、申し訳ないところですが、早い段階から仕事を覚え、しっかりと育っています。他の若い職員たちも今の体制の中での自分の役割をしっかりと認識して頑張っています。

利用者の皆さんが年齢を重ねられたのと同様に、私も腰は慢性的に悪く、首も後方を振り返ったり、上を見上げたりするのが厳しくなってきました。相談員としての役割がメインになっていきますが、施設の中ではかなりのベテランの立ち位置になってきました。今の自分にできることは、利用者さんが生活しやすい施設づくりをすること、その為には職員を確保できるように働きやすい職場づくりをすることかなと感じています。「大変だからストレスが溜まる」と嘆くのではなく、こういう時だからこそ、皆で手を取り合って前向きに進んでいく為はどう改善していくか、しっかりと考えていきたいと思えます。

八月一日は開園記念日。今年も私が担当させて頂きまますので、利用者さんが楽しめる一日を全力でプロデュースしたいと思えます。

相談支援専門員 井上 真次

主任より

自立支援



今年度から班が変わり、十年以上ぶりにいきいきグループに戻ってきました。入職して二年程は現在のいきいきグループに所属していましたが、そこから通所部や四班等、現在のきらめきグループに所属していた時間のほうが長くなっていました。夜間や休日等では顔を合わせる事はありましたが、班に所属するのは久しぶりなのでとても楽しみにしていました。

そんな気持ちで異動してから、もう三か月が過ぎました。以前のいきいきグループと違った部分として一番に感じたのは、やはり皆さん年齢を重ねたなという点でした。体力面や歩行、疾病の状態等、年齢に応じて変化が見られ、年齢や疾病等で他班からいきいきグループに異動される利用者さんも増え、以前とは違った雰囲気になっています。そのような変化に合わせて班に求められるニーズも変わり、介護の技術や疾病面の知識等が必要になってきました。そこで、改めて利用者さんの自立支援について考えてみようと思います。

自立支援について、とても印象に残っている話があります。身体障がいをお持ちで一人暮らしをされている方が、外出をする為に一人で準備をするとなると三時間程かかり、外出する頃にはもうクタクタな状態で、その後の外出を楽しめない。それであればヘルパーさんに準備をお願いして外出した方が、体力的、精神的、時間的にも外出を楽しめるという話です。障がいによって日々の生活に制限がかかり、自身がやりたい事や大事にしている事が出

来ないという事は、自身の生活における自己実現が出来ないという事になってしまいます。一般的な自立とは「自分以外のものの助けなしで、または支配を受けずに、自分の力で物事をやっていくこと」とありますが、福祉の中の自立は意味合いが違っており「自己決定に基づいて主体的な生活を営む事」「障がいを持っていてもその能力を活用して社会活動に参加すること」という意味で用いられています。一般的な自立を障がいを持った方に当てはめると、障がいによって生活の中の行動が難しい部分に常に向き合って克服しなければならぬ事になります。ものすごく大変な生活になりますし、その方の人生は強制的に難しい課題に挑戦し続けなければならぬ人生になってしまいます。その為、福祉の観点からの自立支援が大事になってきます。

いきいきグループには、言葉が話せない方やコミュニケーションが苦手な方が多く所属されています。その利用者さんの自立支援となると、なかなか難しい部分があります。支援側や他者からの「こうなってほしい」「こうあるべき」等の気持ちが入ってしまう事が多く、「出来ない事が出来るようになる」といった形になりがちで、本来の自己実現の趣旨とは違ってきます。その人が生活する上で「やりたい事・大事にしたい事」は一般論ではなく、個々の利用者さんの気持ちに照準を合わせた自立支援を行っていく必要があります。

いきいきグループでも利用者さんの「気持ち」を大事にして、小さな事から自己実現を図り、生活を豊かにし、人生を謳歌できるように自立支援を目指していきます。

主任支援員 平田 雄一

職員より



入職して3カ月が過ぎました。初めは、日々業務を覚えることが多い中、利用者さんとのコミュニケーションも難しく感じていましたが、最近では廊下ですれ違う際に、利用者さんから名前を呼んでいただけることも増え、うれしい毎日です。また、初めて班外出を経験しましたが、温泉や食事を堪能し満面の笑みを浮かべる利用者さんと一緒に私もリフレッシュすることができました。社会人1年目で、コミュニケーションや支援、介助、介護など、学びが多い毎日です。これから様々な経験を積み、知識を深め、利用者さんに認めていただけるような支援員を目指して頑張ります。よろしくお願いいたします。

(支援員 瀬形)

事務局より



先日の大雨が嘘のように毎日 35 度を超える猛暑日が続いていますが、皆様、体調は大丈夫でしょうか。しばらくこの暑さが続くと思うと気が滅入る毎日です。

私は就寝する時は基本的にエアコンをつけない人間なのですが、今年はそう言ってもいられません。部屋の中と外の温度差で体調を崩さないように気を付けたいと思います。

そんな中、今年はコロナ前のようにイベントが色々復活します。利用者さんも外出や一泊旅行など楽しい行事が盛りだくさんです。まだまだ油断はできませんが、利用者さんには、ここ 2~3 年できなかったことを沢山してもらって、楽しい思い出を増やしてほしいと思います。

(事務員 井手)

サービス向上委員会より



■ イベント【主任支援員 中尾・支援員 尾崎か・東】

色々なイベントを計画していましたが、ここ数年はコロナ禍でもあり思うように実施する事ができませんでした。今年度も同じメンバーという事もあり、昨年できなかったこと + α (プラスアルファ) で話し合い、計画を立てています。

昨年度から、光の森にあるフロレスタドーナツさんにつくしの里へ販売に来ていただいています。利用者さんもメニュー表を見て好きな味を選び、自分でお金を支払い購入しています。利用者さんの楽しみの一つになっているようで、私たちも嬉しく思います。

今後は、かき氷会や花火大会、作品展示会等を計画しています。利用者さんに楽しんでいただけるようなイベントにしたいと思います。



～保護者会からのお知らせ～

11月の「やさしさいっぱいコンサート」の期日について、当初11月23日(木)を予定していましたが、11月25日(土)に変更となりました。



行事報告

※ 6/21 (水) ~7/20 (木) の実施分について報告いたします

★ 大津町障がい者施設利用者作品展会【6月19日(月)~30日(金) 大津町役場】

(参加事業所：三気の里・大津あゆみ園・若草児童学園・ここりす・つくしの里)

役場のスペースをお借りして、利用者の皆さんの作品を展示させていただきました。

季節柄、七夕の作品が多かったのですが、それぞれの特性や創造性が出ていて、とても素敵でした。つくしの里からは、3班の紫陽花(貼り絵)とカエル(折り紙創作)がとても可愛らしく、個人で出展された利用者さんも展示会に向けて、意欲的且つ楽しみに創作される過程を見ていて、こちらも楽しかったです。

他事業所では、事業所の紹介や活動風景などを一緒に展示されていたため、つくしの里も事業の内容が皆さんに分かりやすく伝えられるように、今後の参考にさせていただきます。(主任支援員 中尾)



★ 生活介護⑤班外出【6月28日(水) 佐俣の湯】

天候に恵まれず、雨の中を美里町にある佐俣の湯を目指しました。途中、雷鳴を聞き不安は募りましたが、到着すると雨の降った形跡はなく、周囲に薄日が差し「天気が良くなったね!良かったね!」と利用者さんの顔にも笑顔が見られました。

温泉ではサウナや水風呂に入り「身体が引き締まった!」と自慢される利用者さんや、1時間の入浴時間を予定していましたが、時間なんて関係ないと言わんばかりに、ゆっくりと温泉に浸かる方もいらっしゃいました。お楽しみの昼食・デザートは前もってセレクトした料理を、貸し切りの大広間でのんびりと食べて頂きました。

園に戻ると沢山の水溜まりがあり、他班の職員から裏山に雷が落ちた様だとの話を聞いて、5班の利用者さんは「何か持っているな!」と大変うれしく思いました。

(支援員 後藤)



★ パイキング昼食会【7月4日（火）つくしの里】

今回は利用者さんのリクエストメニューでした。定番のから揚げ、フライドポテト、たこ焼きに加え、いなり寿司、おにぎり、ラーメン、牛肉の赤ワイン煮込み、雲白肉（ウンパイロウ：豚肉の旨辛ソース）とボリュームたっぷり。デザートは日清スタッフ手作りのオリジナルパウンドケーキ、ヨーグルトゼリー、すいか等、盛りだくさんの内容で、みなさんに満足していただけたと思います。前日は大雨でしたが当日は雨もあがり、昭和や平成の歌謡曲を聞きながら楽しい時間を過ごしていただきました。（管理栄養士 奈須）



★ いきいきグループ外出【7月20日（木）アンジュールハウス】

天候に恵まれ、いきいきグループ利用者さん12名・職員7名でアンジュールハウスに食事に行ってきました。普段食べられないようなコース料理をおめかしして堪能してきました。前菜・スープ・魚料理・肉料理・デザートをゆっくりとした時間の流れで味わっておられました。「次は何がくるのかな、焼きそばかな」と奥を覗き込むように見てお喋りする方もおられ、和やかな雰囲気でした。

今回外出された利用者さんは、ミキサー食や刻み食の方が多かったのですが、綺麗で美味しそうな盛り付けが工夫されており、どの料理も豪華でした。もちろん味も格別でしたが、目でも楽しむ事ができて食欲が増したようです。食べる事は生きていく中で、楽しみの上位だと思えます。これからも美味しい物を食べる機会を作っていきたいと思えます。

（支援員 松若）



行事予定



☆ 開園記念祭 (つくしの里)

期 日：8月1日 (火)

内 容：今年は久しぶりに両グループ合同での開園記念祭になります。陣内幼稚園の園児との交流や、キッチンカーでのサツマイモスイーツ販売を予定しています。

☆ 通帳確認 (つくしの里)

期 日：8月7日 (月)～31日 (木)

内 容：当初の予定から期間を延長しました。期日については担当職員より個別に電話で連絡させていただきます。



☆ 生活介護⑤班一泊旅行 (阿蘇内牧温泉 湯巡追荘)

期 日：8月29日 (火)～30日 (水)

内 容：コロナ禍を経て4年ぶりの一泊旅行！熊本地震で甚大な被害を受けた南阿蘇鉄道が全線開通したので、トロッコ列車に乗って阿蘇観光を楽しむことができます。



ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和五年六月二十一日～

令和五年七月二十日です



【寄付・寄贈】

- ・後藤 弘子 様
- ・田中 幸一 様
- ・三上 貴宏 様
- ・山本 清隆 様
- ・中尾 精一 様
- ・長野 歯科 様
- ・ほっこりの里 様
- ・まんしん未来 様
- ・日清医療食品(株) 様
- ・竹山 洋子 様
- ・藤田 ひとみ 様
- ・光永 順子 様
- ・渡辺 昭子 様
- ・佐俣の湯 様
- ・三協化研 様

【ボランティア】

- ・村里 和洋 様
- ・トキロロ 様
- ・木本 ふじ子 様
- ・佐藤 典子 様
- ・カモメ 様



誠にありがとうございました。
利用者さんの為に使わせて頂きます。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。

編集後記

八月を迎えましたが、コロナウイルスやインフルエンザは、じわじわと流行しているようで、気を抜けない毎日です。利用者の皆さんは、お盆の外泊や一泊旅行、個別外出など、それぞれの予定を楽しみにされていますので、熱中症対策も含めて体調管理には万全を期したいと思います。皆様もご自愛ください。



おいしいパフェが
できました♪



施設PR委員会 今月の1枚!